



月刊下水道 11月号のP80「Newsのページ」に総会の内容が掲載されました。又P33.P34の間にEGSM工法カラーログ8PフルカラーをPR掲載いたしました。



月刊推進技術 10月号ニュースFlashに掲載されました。



EGSM工法アースオーガータイプのパンフレットを作製いたしました。ご活用をお願いいたします。

全国非開削普及協議会：平成29年度定時総会を開催 関東地区等で非開削技術の普及を図る

全国非開削普及協議会は9月1日、東京・港区のメルパルク東京において平成29年度（第14回）定時総会を開催した。

平成28年度同協議会では、推進工法および道路集水桝浸透化技術

（EGSM工法）、マンホール浮上防止技術（インナーウェイト工法）のPR活動を全国展開するなどし、東京都杉並区や同世田谷区のほか兵庫県姫路市等での本格採用に結びつけた。平成29年度については、関東地区を重点地区に位置付けてEGSM工法など非開削技術の普及を図るほか、土壌汚染対策技術の開発と放射能汚染水の処理を含めた泥水処理技術の向上を図っていく方針。



2017 下水道展 全国非開削ブース



岡本会長

第14回定時総会「自然災害や下水道管路の長寿命化対策に対応した環境にやさしい非開削工法を提案しつづけてい」

全国非開削普及協議会

全国非開削普及協議会（(公社)日本推進技術協会：賛助会員、会長：岡本州雄・スピーダージェンタル(株)代表取締役社長）は、9月1日メルパルク東京（東京・芝公園）において第14回の定期総会と特別講演を開催した。

総会の冒頭岡本会長は「これまでどおり、高精度でコンパクトな『小口径管推進工法』簡便な『道路集水桝浸透化工法』

下水道用の『マンホール浮上防止工法』など各種非開削工法の普及啓蒙活動を通じ、住民の皆様への工事による環境負担の減少や安心安全な工法として非開削工法の普及拡大を目指したい」とあいさつした。

今年度の事業計画では、EGSM工法研究会では東京都杉並区、世田谷区、兵庫県姫路市での本格採用になった。採用自治体をさらに増やすべくPR活動を強



▲「住民の皆様への工事による環境負担の減少や安心安全な工法として非開削工法の普及拡大を目指す」とあいさつする岡本会長



▲「現場の声が重要」と研修会で語る佐藤教授

総会冒頭に挨拶に立った岡本州雄会長は「当協会としては、自然災害や下水道管の長寿命化対策に対応すべく、環境に優しい工法としての非開削工法を各種提案してきた。特に高精度でコンパクトな小口径管推進工法、簡便な道路集水桝浸透化工法、下水道用マンホール浮上防止工法等、各種非開削工法の普及啓蒙活動を通じ、住民への工事公害による負担の減少や安心・安全な工法としての非開削工法の推奨に努めてきた。平成29年度についてもさらなる盤石な組織体制づくりを行うとともに、ますます多様化する社会ニーズに対応できるように努めていく」と述べた。

化。非開削工事普及推進部会では小口径管推進工法の下水道分野以外の活用事例として、耐震対策としての液状化防止対策工事や軌道下における障害物探査などに活用が拡大していることを受け、工法の適用範囲拡大の強化。環境保全技術推進部会では昨年に引き続き環境保全に関する技術開発の継続および新たなニーズの発掘に注力する、などの事業計画を審議し満場一致で可決承認された。

総会終了後の研修会では「現場からのヒント」をテーマに、設計コンサルタントや発注者、施工者の経験を持ち、推進工法で技術士を取得された経歴の日本大学生産工学部土木工学科施工計画研究室の佐藤克己教授がプレゼンターとして登壇。「学問とは」との問いからはじまり、大学の研究で求められているものが「現場からの要請」や「現場からのヒント」である。との持論を展開し会員各社に「現場からの声」の重要性を示した。

懇親会ではEGSM工法研究会会長の富樫邦男・(株)エルデック代表取締役が「同じ志を持った仲間が全国から集まっている。有意義な懇親会にしてほしい」との開会あいさつから始まり、来賓代表で石川和秀・全国ヒューム管協会専務理事から「ナンバーワンではなくオンリーワンを目指せ」と会員各社への激励のあいさつがあった。乾杯の発声では屋井裕幸・(公社)雨水貯留浸透技術協会技術部長が「国内でEGSM工法に続く技術が開発されたが、同工法は一步先んじている。慌てずさらなる技術開発を進めてほしい」と語り、JICAのプロジェクトでインドに赴いた経験をもとに「海外にもニーズがある。海外に目をむけてさらなる普及を目指してほしい」と激励した。



▲「オンリーワンを目指せ」とあいさつする石川専務理事



▲「海外にも目を向けてほしい」とあいさつする屋井部長